



本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】第8回 宮城俊作氏
3面 【特集】「都市緑化月間」に合わせて日造協が企画・主催
「全国造園フェスティバル」を語ろう
造園の力を結集して新時代を切り開こうほか
4面 【協会だより】「第47回技能五輪全国大会」開催
【緑滴】景観保護と住民の暮らし / 【賛助会員の紹介】



全国大会で挨拶する山田勝巳(社)日本公園緑地協会会長

ひろげよう 育てよう みどりの都市 公園緑地の整備に向け全国大会を開催

平成21年度「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会が10月30日、東京・千代田区の日比谷公会堂で行われた。全国大会は、(社)日本公園緑地協会が主催、(財)都市緑化基金の共催、国土交通省、独立行政法人都市再生機構の後援で実施され、各種表彰や講演、報告などが行われた。

全国大会は冒頭、山田勝巳(社)日本公園緑地協会会長が「人々の生活において、緑の必要性は従来にも増して高まっている。行政においては財政問題も多難を極めているが、国民の緑への要望は根強く、本日の大会を全国的な緑の展開に役立てていただきたい」と挨拶した。

次いで来賓から、前原誠司国土交通大臣(長安豊国土交通大臣政務官代読)が、「地球温暖化やヒートアイランド対策など、都市公園・緑地は計画的に進めていく必要がある。関係者が一堂に会することは意義深い。また、本日受賞され

る方々は、日頃の取り組みの賜物である。心からお祝いを申し上げたい」と述べた。表彰では、3賞の授与式が行われ、「都市緑化及び都市公園保全美化運動功労者国土交通大臣表彰」は、25名が受賞。当協会からは、水庭博氏(株)水庭農園・茨城県、小松崎茂氏(鹿島庭園(株)・茨城県、田村正雄氏(株)庭研・埼玉県、山田康博氏(株)サカタのタネ・神奈川県、遠藤義夫氏(おもと造園・沖縄県)が受賞。加藤利男国土交通省都市・地域整備局長が賞状を授与した。そのほか、「第29回緑の



都市緑化功労者大臣表彰受賞者と正副会長で記念撮影(10月30日)

賞。同じく造園施工部門を、鈴木・日比谷建設共同企業体(株)日比谷アメニス)が「東品川海上公園」(東京都品川区)で受賞。(社)日本公園緑地協会会長賞では、管理運営部門を、パークマネ

「緑と花が社会を動かす」



講演を行う須磨氏

須磨氏は、日本人と植物の関係は密接で、鼻は花、目は芽、耳は実など、万葉学者によると、人の体と植物の部位とは、同じ言葉が使われていたことなどを紹介。これからたくさんのお写真をお見せするが、本当に見ていただきたいのは、花や緑や庭ではなく、そこにいる、そこに想いを寄せる人々であり、ここから、これらのライフスタイルを一緒に考えていただきたいとした。

講演は、個人の庭を公開するなど、多くの人々を楽しませている「オープンガーデン」の取り組みを中心に、10年前は「オープンガーデンって何？」と聞かれるくらいだったが、この2、3年で急速に普及し、オープンガーデンにより繋がっていく人々が新たなコミュニケーションを作り出し、情報発信の場となり、まちづくりの拠点となっている。オープンガーデンをする人は、人が喜んでく

けがえのない環境を未来へ「緑豊かなまち横浜」へ発揮される地域力・市民力」と題して行い、次いで「第25回都市公園コンクール」・国土交通大臣賞を受賞した西武・狭山丘陵バートナーズから、佐藤留美都民協働部長が「東京都立野山北・六道山公園における新たな協働型パークマネージメント」をテーマに、それぞれの取り組みについて、成果や課題、これからの展望などについて報告した。

須磨佳津江氏が 全国大会で講演

須磨氏は、日本人と植物の関係は密接で、鼻は花、目は芽、耳は実など、万葉学者によると、人の体と植物の部位とは、同じ言葉が使われていたことなどを紹介。これからたくさんのお写真をお見せするが、本当に見ていただきたいのは、花や緑や庭ではなく、そこにいる、そこに想いを寄せる人々であり、ここから、これらのライフスタイルを一緒に考えていただきたいとした。

樹林

ガーデニングブームの引き金となった「国際花と緑の博覧会」の年から数えて来年は20年目を迎える。この記念の年となる来年4月17日から25日の9日間にわたって、国営昭和記念公園では、東京インターナショナルフラワー&ガーデンショーが開催される。

国際園芸博覧会の理念を引き継ぎ、この国にも世界に通じるフラワーショーをという日造協の掛け声に始まって実現までにかこれ10年の歳月を要した。

できることなら成功裏に閉幕し、継続的な発展を願いたい。目指すは東洋のチエルシーフラワーショー、植物王

国イギリスにおいて1913年に始められたとされる。掲げる目標どおりに立ち上がりとして、イギリスに遅れること実に100年のイベントである。話は変わるが、千葉県流山市の一茶双樹記念館の指定管理をお手伝いして

「東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー」開催に向けて

(株)グリーンダイナミクス 代表取締役プロデューサー
千葉大学 大学院 園芸学 研究科 特任教授

賀来 宏和



浅草、隅田川の花を見て「花見の記」を制作。文化8年(1811)には同

友とともに植木屋見物をしている。花にもはやり廃りがあるが、享保年

間(1716~1735)に植木屋が

「菊園や歩きながらの小盆

(こさかずき)」

「菊茶屋のてんでに云うや一番と」

「菊園や下向は左へ左へ」と

一茶のこれらの句は、植木屋の繁盛

先人のパワーをもらいながら、造園

業のゆくえを探る。東京インターナシ

ョナルフラワー&ガーデンショーは、

未来に向けての第一歩である。

講演は、個人の庭を公開するなど、多くの人々を楽しませている「オープンガーデン」の取り組みを中心に、10年前は「オープンガーデンって何？」と聞かれるくらいだったが、この2、3年で急速に普及し、オープンガーデンにより繋がっていく人々が新たなコミュニケーションを作り出し、情報発信の場となり、まちづくりの拠点となっている。オープンガーデンをする人は、人が喜んでく

学会の日・眼・芽

第8回

2016年夏季オリンピックの東京招致は失敗に終わりましたが、その副産物ともいえる『10年後の東京』なるヴィジョンは、造園やランドスケープに関わる産官学の領域に少なからずインパクトを与えたようです。これは、2006年夏に東京都がオリンピック招致国内候補都市に選ばれたことをきっかけとして、石原東京都知事の肝いりで描かれた近未来における東京の都市像です。そして8項目にわたる具体的施策のトップに「水と緑の回廊に包まれた美しいまち東京を復活させる」ことが謳われていることはよく知られているでしょう。名実共にガーデンシティであった江戸時代の東京を再生しようという意気込みです。もちろんのこと、この分野に身をおくものとして、この施策は大いに歓迎するべきものであるのですが、実践の場では少しばかり気になることに遭遇することがあります。

都心部における大規模な再開発事業などのランドスケープ設計では、都や区の緑化条例に準拠して緑化計画を立案することになるのですが、その過程で条例の基準を上回る緑量の確保が奨励されるようになりました。そのこと自体は良いとして、問題はその際に根拠となる基準が、あいかわらず平面的な緑化面積を中心に算定されるというしくみにあります。周知のように、東京に限らず国内の多くの都市では、一定規模以上の様々な建設行為や開発行為にあたって、敷地面積に対する平面的な緑化面積や敷地の接道距離に対する線的な緑化周長の比率に基

準を設定して、緑化を義務づけています。建物の屋上の緑化についても同様です。基準面積あたりの高木や中木、灌木などの本数を事細かに定めている場合もあります。

しかし、そうした場合にも、要求されるのはあくまで地上部の緑、つまり「上モノ」の緑の量であって、地表面下の植栽基盤の仕様にまで言及されることはまずないでしょう。緑化申請のための図書には、植栽平面図や数量表は求められても、植栽基盤の断面図や灌水や排水の設備図の添付を義務づけている例はあまり聞いたことがありません。

このため、往々にして平面的な面積に比して貧弱な緑量しか確保されない事例が目立ちます。おそらく、そのことは造園建設に関わっておられる技術者のみなさんが、だれよりも実感されているのではないのでしょうか。加えて、軽量で薄層の植栽基盤による緑化が可能となるような技術開発が進んできたために、このよう

な傾向は一層、顕著になりつつあるように思われます。ただし、これらの緑化技術がもたらす長期的な成果は、現時点では未知です。

断面で考える都市の緑

一方、諸外国では平面的な緑化面積に加えて、その緑化を成立させている植栽の基盤の仕様に、細かな基準を設ける場合がみられ、特に都市部の人工地盤上の緑化などにおいて重視されているようです。竣工時に植物の個体が維持されているだけではなく、長期にわたって良好な状態に生育することが担保されるような植栽基盤の確保が目的です。たとえばドイツをはじめEU諸国で提唱されたBiotope Area Factorの概念は、植栽基盤としての機能に加え、一定以上の厚さの植栽土壌面や自然土層がもっている保水性や土壌生物相を維持する機能を含めて、生態学的な環境改善に資することを期待しているものです。

このような進化は、都市空間の平面的な表層を緑で覆うこと (greening) から断面的な構造の中に植生を再生させること (re-vegetation) への意識の転換を、いやおうなくもたらしめるでしょう。植生という語は、植物の個体群だけではなく、それらを支える環境との相互関係のありようを総合的に意味しています。当然、そこには維持管理を含む人為的な干渉も含まれることになります。そのプロセスでは、都市の緑を考えるための思考回路を、平面的なものから断面的なものへと組み替えることが求められるでしょう。しかし、この組み替えには、技術的な知識や経験がなによりも必要とされます。設計や施工の実務サイドからのサポートが不可欠になることでしょう。

(社)日本造園学会常務理事、

設計組織 PLACEMEDIA・パートナー、

奈良女子大学住環境学科・教授

宮城 俊作

2009年秋の叙勲当協会から9氏

瑞宝中綬章を近藤公夫理事が受章

2009年秋の叙勲受章者が発表され、当協会関係者9名が受章の栄に輝いた。また、国土交通省関係の伝達式は11月6日、東京・千代田区のグランドプリンスホテル赤坂で行われた。

- 受章者は以下の通り。
- （現会員・役員）
- 【瑞宝中綬章】
- 近藤公夫（80）理事、奈良女子大学名誉教授、京都府 田原造園協会副会長、秋田 丸亀市
- 【旭日双光章】
- 井出清一（70）会員、（関係者）
- 【瑞宝単光章】
- 森國廣（64）会員、元山地緑化センター庭園部主任、高知市
- 【瑞宝双光章】
- 岩水勝盛（70）前監事、元九州地方建設局用地部長、埼玉県新座市
- 小倉乙男（70）元事務局長、元建設大学校総務課長、さいたま市
- 小野和日児（70）元理事、元国土地理院長、東京都渋谷区
- 曾田欽嗣（70）元常任顧問、元建設大臣官房審議官、横浜市
- ロードグリーンズ社長、元高知県造園業協会会長、高知市
- 木村昭二（70）会員、任、高松市
- 吉本清則（62）会員、吉本緑地建設職長、香川県
- 吉本緑地建設職長、香川県丸亀市



全国造園フェスティバルは、会員が独自のイベントをはじめ、各地で開催されている緑化フェアなど、多くの人々が集まる機会を生かした取り組みなどで、“花と緑で美しい日本を！”をはじめ、造園事業などをアピールした。

2009 年度「全国造園フェスティバル」開催一覧

支部	開催日	開催場所	所在地
北海道	10/10	国営滝野すずらん丘陵公園	札幌市
青森県	5/3	史跡根城の広場	八戸市
青森県	10/10	史跡根城の広場	八戸市
岩手県	9/26～27	岩手県立緑化センター	奥州市
宮城県	10/10	国営みちのく湖畔公園	川崎町
秋田県	10/10～11	北欧の杜公園	北秋田市
山形県	9/27	庄内空港緩衝緑地	酒田市
福島県	10/4	開成山公園	郡山市
茨城県	10/4	国営ひたち海浜公園	ひたちなか市
栃木県	10/3	みずほの自然の森公園	宇都宮市
群馬県	10/25	県立つつじが岡公園	館林市
埼玉県	10/24～25	所沢航空記念公園	所沢市
千葉県	10/10	千葉県立行田公園	船橋市
千葉県	10/11	稲毛海浜公園	千葉市
千葉県	10/25	千葉ポートパーク	千葉市
千葉県	11/1	袖ヶ浦海浜公園	袖ヶ浦市
千葉県	10/12	五井緑道	市原市
千葉県	10/9～11	天沼弁天池公園	船橋市
東京都	5/23～24	馬事公苑前けやき広場	世田谷区
東京都	10/25	練馬区立四季の香公園	練馬区
東京都	10/3	錦糸公園	墨田区
東京都	10/10	都立大井ふ頭中央海浜公園	品川区
東京都	10/24	目白台運動公園	文京区
東京都	10/17～18	高井戸地域区民センター	杉並区
東京都	10/29～11/1	日比谷公園	千代田区
神奈川県	10/11	神奈川県立相模原公園	相模原市
山梨県	10/24～25	山梨県緑化センター	甲斐市
長野県	10/17	国営アルプスあずみの公園	安曇野市
新潟県	10/18	巻本町通り	新潟市
新潟県	10/25	新潟市岩室体育館	新潟市
富山県	10/25	高岡おとぎの森公園	高岡市
石川県	9/23	辰口丘陵公園	能美市
石川県	9/26	犀川緑地	金沢市
石川県	10/4	奥卯辰山健民公園	金沢市
石川県	10/11	中央公園	金沢市
岐阜県	10/24	県庁広場	岐阜市
静岡県	10/17～18	浜松市アクト通り・東ふれあい公園	浜松市
愛知県	10/10	鶴舞公園	名古屋市

支部	開催日	開催場所	所在地
三重県	10/10	県営都市公園 鈴鹿青少年の森	鈴鹿市
福井県	10/18	足羽山公園遊園地	福井市
滋賀県	10/10	県営都市公園 奥びわスポーツ公園	長浜市
滋賀県	10/24～25	大津湖畔なぎさ公園サンシャインビーチ周辺	大津市
京都府	10/24	御池通シンボルロード	京都市
大阪府	10/10	ひらかたパーク	枚方市
兵庫県	10/11	兵庫県立明石公園 芝生広場	明石市
奈良県	10/11～12	イオンモール橿原アルル	橿原市
和歌山県	10/11	マリナーシティーイコラストリート	和歌山市
岡山県	11/1	(株)山都屋 庭園	岡山市
広島県	10/12	広島県緑化センター・広島市森林公園	広島市
鳥取県	10/17～18	湖山池公園 (予定)	鳥取市
鳥取県	10/17～18	米子市弓ヶ浜公園	米子市
山根県	11/1	くにびきメッセ	松江市
山口県	10/17	きらら浜	山口市
山口県	11/21～22	吉香公園	岩国市
山口県	10/24～11/1	海峡夢広場	下関市
山口県	10/3	新富山公園	山口市
徳島県	10/11	新町橋東公園	徳島市
香川県	10/31	さぬき空港応援	高松市
香川県	11/8	国営讃岐まんのう公園	まんのう市
高知県	10/10	高知市中央公園	高知市
愛媛県	10/10	愛媛県立とべ動物園	砥部町
福岡県	10/11	警固公園	福岡市
福岡県	10/11	海ノ中道海浜公園	福岡市
福岡県	10/11	到津の森公園	北九州市
福岡県	10/11	北九州市立 白野江植物公園	北九州市
福岡県	10/9～11	福智山ろく花公園	直方市
福岡県	10/18	遠賀川わくわく夢フェスタ	直方市
佐賀県	10/10	唐津市ふるさと会館「アルビノ」・広場	唐津市
佐賀県	10/10	サンメッセ鳥栖	鳥栖市
佐賀県	10/11	金立公園	佐賀市
長崎県	10/24～25	おくんち広場	長崎市
熊本県	10/11	テクノ中央緑地	益城町
大分県	11/14	未定	未定
宮崎県	10/12	生駒高原 花の茶屋	小林市
鹿児島県	10/24～25	かごしま県民交流センター	鹿児島市
沖縄県	10/11	沖縄県浦添大公園	浦添市



警固公園での苔玉づくり（福岡県）

「都市緑化月間」に合わせ 日造協会員 「全国造園フェスティバル」

造園の力を結集して新時代を切り開こう

(社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長 大塚 守康

これからのクライアントは市民

長いこと公共公園事業に

浸ってきた我々は、公園と
は何かを真剣に考えたこと
があつただろうか。造園の
技術を発揮して仕事になる
ところ、などと括っていた
ようにも思える。新政権に
なつて、この慣習はすでに
通用しなくなっている。造
園とは公園を造る技術集
団、ではなく、新政権流に
いえば、子育て、福祉、地
球環境のどれにも役立つ技
術を持った集団とでも言わ
なくてはならない。すなわ
ち、何の役に立つのかを具
体的に、市民の生活にから
めて訴えていかなければな
らない。

今、子育て支援が大きく

取り上げられている。第一
段階としては支援金の交付
であるが、真の子育てに
は良質な子育て環境が欠か
せない。それが造園の仕事
である。今後は、行政が青
写真のもとに事業を立てる
のではなく、市民の声が事
業を推進するのであり、市
民がクライアントとして表
に出てくる時代になった。

少なくとも我々は箱物行政
ではなく、人行政に立って
いることを市民に訴えてい
こう。

造園の力を結集しよう

設計、施工、材料などの
業態の分離は公共事業シス
テムの必要性から発してい
た。今、そのシステムが揺
らいでいる。この時こそ、

我が国の本来の姿である一統
きの造園に戻そう。今まで、
業態の分離が造園の特性を
阻害していたのであり、造
園とは何かを発信していく

ものにしていた。

また、市民に対しては、
設計も施工も材料も皆同じ
造園である。民意を動かす
には、これまでの陳情とは
違ったとてつもない力を必
要とする。今こそ造園界の
力を結集する動きを始めよ
う。

自分が動かないと何事も起こ
ない

景気が悪いということ
は、流れてくる仕事が少ない
ことを意味し、ひたすら
流れが良くなることを待ち
望んでいた。これを請け負
い体質という。

これからは請け負い体質
は通用しなくなる。仕事は
自分で造り売り込む時代に
なった。今まで楽をしてい
たのか大変なことになった

のかはともかく、自分が動
かなければ何事も起こらな
い時代になってしまったの
である。

だからこそ、造園界の力
を結集して、市民に我々が
生活の役に立つ技術者集団
であることを具体的に訴
え、新しい造園の時代を切
り開いていこう。

を説明できないでいた。「造
園」を広く一般の人々に理
解していただく方法はない
ものかと悶々としてきた。

お父さんの仕事はいい仕事
数年前、日本造園建設業
協会で「全国造園フェス
ティバル」の企画が持ち上
がった。そして4年前から
全国の公園を利用して「造
園」を知っていただく運動
が展開された。

NHKがいくつかの都市
で開催された「全国造園
フェスティバル」の様子を
取材し放映した。ちょうど
秋の祝日だったので、夕方
の首都圏ニュースを家族一
緒に観ることができた。中
学生だった娘が言った、「お
父さんさあ、いい仕事やっ
てんだからもっと造園をア
ピールしたら。」まったく
その通りである。

子どもたちに造園を体感
今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

「全国造園フェスティバル」で造園の味方を増やそう！

(社)日本造園建設業協会 事業部長 野村 徹郎

「花と緑で美しい日本
を」をメインテーマにし
た「全国造園フェスティバ
ル」は、2006年に都市
公園法施行50周年の連動企
画として第1回を開催し、
年々開催地を増やしながら
4回目となる今年は全国76
箇所で開催されることと
なった。

北海道から沖縄まで全国各
県に広がる日造協のネット
ワークを活用して、それぞ
れの会員が事業を営む身近
な地域で、造園のセンスや
技術を多くの人に見ていた
だこう、知っていただこう
と始めた企画である。幅広
い造園の事業領域があまり
にも一般の人々に知られて

いないという危機感ととも
に、21世紀には欠かすこと
のできない生活密着型の産
業であることをアピールし
たい、できれば多くのマス
メディアにも注目していた
だき造園の味方を増やした
いということもこのイベン
トの大きな目的なのであ
る。

はじめのうちは、こんな
イベントをして一体なんの
役に立つのか？誰も見に来
ないだろう。何をして良い
のかわからない。無駄なこ
とをして、などの声も多く
聞かれたが、多くの会場で
来場者数は数千人を超え、
会場アンケートによれば多
くの方から好感を持って
いただけたという評価にな
っている。

独自に工夫されたイベン
ト企画も徐々に増えつつあ
り、緑の相談所を設けたり
植物に関するクイズや剪定
講習会の開催など、庭づく
りやガーデニングにすぐに
役立ちエンドユーザーに密
着したものに人気があるよ
うだし、主催者側の印象と
しても造園をアピールでき
市民や発注者など多くの方
と交流できたことに意義を
見出している。

今年の春、社会人になつ
た甥がまだ小学生だった
頃、こんな会話をしたこと
を今でもよく覚えている。
「ねえ、おじさん。おじさ
んの仕事ってなあに？」
「ゾウエン」
「ゾウエンってなあに？」
「ゾウエンという仕事は
ね・・・」

しばし頭の中で言葉を捜
していた甥がまだ小学生に
もわかるように短く易しく
表現することは難しく咄嗟
に出てこない。苦しい紛れに
言葉が発した。
「みどりて日本を美しく
することなんだ。わかるか
な。」
「うん、わかった。」と頷
いてくれた。

この時、彼は「造園」に
ついてどんなイメージを頭
に画いてくれたのだろう。
私たちは普段「造園」とい
う仕事を家族や友人に説明
できているだろうか。私自
身、長年みどりで快適な環
境をつくる仕事に従事して
いながら、「造園」の魅力

能を遺伝子としてもってい
るはずなのだ。
花や緑は人々に笑顔をも
たらし、心に安らぎを与え
てくれるすばらしいパート
ナーであり、それを巧みに
活かす美しい景を創造する
造園は日々の暮らしだけで
なく、大きくは地球環境の
保全にも貢献していること
を多くの人々に知っていた
だき「造園の味方」を増や
すことが、未来に向かって
さらに大きく羽ばたく造園
に必要なことなのではない
だろうか。

「造園」の魅力を知ってもらおう

内山 緑地建設(株) 関根 武

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷

今年、わかった。」と頷



球根の掘り取りも大人気で長蛇の列に（東京都支部）

協会が会員社員が様々な工
夫を凝らし、「造園」の仕
事の内容や草花、苗木、実
土などを使ったイベントを
行った。

一人でも多くの子どもた
ちに「造園」のおもしろ
さを体感してほしいと願
う。葉っぱで舟をつくり水
に浮かせて流したり、笛を
つくって音を出して楽しん
だり、囃んだ瞬間に口に広
がった苦味を味わったり、
木登りをして幹のゴツゴツ
感やザラザラ感を手のひら
に感じたり、裸足になって
芝生の上を歩いたり走った
り寝転んだり。「造園」は
いつも君たちの身近にある
気持ちのよい遊び道具であ
ることを知ってほしい。

そして君たちが成長して
大人になったとき、「造園」
は環境を改善し街を美しく
してくれるだけでなく、人
の心も身体も健康にしてく
れる力を持っていることを
知ってほしい。

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

今年、「全国造園フェス
ティバル」は4年目を迎え
た。全国の日本造園建設業

第47回技能五輪全国大会 茨城県で開催 金賞に藤崎さん

協会 だより

総支部、支部、事務局からの
記事を紹介しします



限られた時間で懸命に課題に取り組む選手

入賞者			
金賞	藤崎 賢博	(有)岡部造園	山口県
銀賞	池田 典史	宮崎県造園技能士会	宮崎県
	大澤 力也	(有)大沢造園	東京都
	小松 彩	安藤植木(株)	神奈川県
銅賞	渡邊 大介	今田作庭園	香川県
	菱沼 翔太	(株)大平造園土木	茨城県
	白石 拓也	(有)若松緑地建設	福岡県
敢闘賞	松田 大樹	(有)松田庭園	大分県
	堀 高郎	(株)森芳楽園	山口県
	成富 勝彦	(株)旭日緑化建設	佐賀県
	塚本 将太	県立石岡第一高等学校	茨城県
	割貝 竜也	(有)古平園	茨城県



審査の様子

委員			
競技主査	宇田川 辰彦	造園連	
競技委員	野村 脩	造園連	
	高橋幸雄	造園連	
	高杉忠美	日造協	
	堀江 豊	茨城県	
運営委員	荻原博行	造園連	
	松本 透	日造協	

敢闘賞に堀高郎氏(株)森芳楽園・山口県支部)、成富勝彦氏(株)旭日緑化建設・佐賀県支部)が入賞した。なお、技能五輪の開催にあたり、当協会から松本透氏(株)富士植木)、高杉忠

茨城県ひたちなか市総合運動公園で、10月24日、25日の2日間、第47回技能五輪全国大会の造園競技が行われた。

技能五輪は、青年技能者の育成と、技能に身近に触れる機会を提供し、広く技能の重要性、必要性をアピールするもの。選手は、満年齢23歳以下で、都道府県職業能力開発協会の地方予選大会等で優れた技能を

有する推薦者が参加する。大会は、10月23日に開会式、26日に結果発表、閉会式を行った。造園競技は、24名が参加。第1日目・8時半から16時半、第2日目・8時半から13時半の合わせて11時間の制限内に、総合的な技能の熟練度が求められる石組み・石積み、石張り、竹垣・木柵等の製作、植栽・草花等の植付け、張り芝、敷き砂利など、洋

風の技法と和風の技法が織り交ぜられた課題に取り組んだ。

競技会場にはギャラリーも多く、競技について熱心に主催者に質問する姿も見られ、最後の仕上げが完成すると、ギャラリーやスタッフがクラッカーを一斉に鳴らして、出場者の労をねぎらった。

なお、当協会会員では、敢闘賞に堀高郎氏(株)森芳楽園・山口県支部)、成富勝彦氏(株)旭日緑化建設・佐賀県支部)が入賞した。なお、技能五輪の開催にあたり、当協会から松本透氏(株)富士植木)、高杉忠



競技会場の様子

事務局の動き

工場緑化推進全国大会
工場緑化推進全国大会は、昭和57年以来、630工場を表彰。今回は、経済産業大臣表彰5件、(財)日本緑化センター会長表彰14件、奨励賞5件が表彰された。

建設CPD協議会

建設CPD協議会は、建設系技術者の能力維持と向上を支援するため、関係学協会間での連絡や調整を図り、CPDの推進を目的とする「建設系CPD協議会」では、発注機関のCPD認知度、活用状況を把握するため国と都道府県、政令指定都市の公共事業担当部署にアンケートを行った。

11月16日には東京都港区の建築会館ホールでシン

ポジウム「建設技術者は継続教育をどう活用すべきか？」を開催しアンケート結果と国内外のCPDを取り巻く状況について報告される。

10月

- 1(木) 第28回工場緑化推進全国大会
- ・運営会議
- ・基幹技能者制度推進協議会分科会
- 2(金) 三重県支部交流会
- 3(土) 兵庫県立淡路景観園芸学校10周年記念式典
- 5(月) 建設系CPD協議会
- 6(火) 「広報日造協」編集会議
- 7(水) 北海道支部交流会
- 9(金) 造園・環境緑化産業振興会事務局会議
- ・都市緑化キャンペーンオープニングセレモニー

景観保護と住民の暮らし

政権交代が現実のものとなり連日のように鳩山民主党による変革のニュースが報じられている。特に前原国土交通相によるハッタダム建設中止など公共事業の見直しは地域にとって様々な課題を投げかけている。

広島県の東部、福山市でも瀬港埋め立て・架橋問題が全国的な話題として報じられている。この問題は歴史的、文化的景観の保護の問題と、一方で住民が安心して生活が出来る生活環境改善のための事業という大きなテーマが未解決のまま長年にわたり延び延びにされてきている。

小生は1985年から4年間、弊社の福山支社長として福山市へ赴任していた。広島県から瀬港埋め立て・架橋計画が1983年12月に出され



緑
滴

道路事情はほとんど変わっていない。もしもこの瀬の古い町並みの中で火災などの災害や急病人がでたら消防車も救急車も満足に進入できない。考えただけで背筋が寒くなってくる。

そもそもこの計画は多くの住民から瀬港の一部埋め立てによる駐車場

(社)日本造園建設業協会理事、(株)中国新聞社代表取締役副社長 山本 一隆

日造協賛助会員の紹介 15

相鉄興産(株)

当社は、環境に配慮した緑地管理工法として、天然重曹を使った除草・抑草システム「トロナ®」をご紹介します。

食酢などと共に、「特定防除資材」に指定されている重曹を使用した水溶液の高圧散布によって、雑草を枯死及び抑制します。処理後は廃棄物として扱われる雑草を、粉砕処理等にて土



トロナによる作業風景

- 15(木) 長崎県支部交流会
- ・基幹技能者特例講習会(大阪)
- 16(金) 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール表彰式
- 20(火) 秋田県支部交流会
- ・島根県支部交流会
- 21(水) 山形県支部交流会
- ・広島県支部交流会
- 22(木) 造園・環境緑化産業振興会代表者会議
- ・京都府支部交流会
- ・岡山県支部交流会
- 23(金) 滋賀県支部交流会
- ・技能五輪全国大会
- 26(月) 静岡県支部交流会
- ・宮城県支部交流会
- ・神奈川のみどりを創り育てる講演会・集い
- 27(火) 福島県支部交流会
- ・茨城県支部交流会
- ・コスモス国際賞授賞式
- 29(木) 資格制度検討会議
- 30(金) 「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会
- 4(水) 「広報日造協」編集会議
- ・石川県支部交流会
- 5(木) 運営会議
- ・富山県支部交流会

- 9(月) 大阪府支部交流会
- 10(火) 兵庫県支部交流会
- ・鳥取県支部交流会
- 11(水) 愛知県支部交流会
- 12(木) 植栽基盤診断士実技試験(14土)
- 13(金) 基幹技能者特例講習会(鳥取)
- 16(月) 東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー組織委員会
- 17(火) 建連連全国大会
- ・鹿児島県支部交流会
- 18(水) 財政運営基本対策部会
- ・佐賀県支部交流会
- 19(木) 長野県支部交流会
- ・山口県支部交流会
- 20(金) 山梨県支部交流会
- ・香川県支部交流会
- ・沖縄県支部交流会
- ・基幹技能者講習委員会
- 24(火) 岐阜県支部交流会
- ・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
- 26(木) 登録造園基幹技能者講習(大阪) (27金)
- 27(金) 栃木県支部交流会
- 30(月) 資格制度検討会議